

市町村名	大宜味村						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	カラキ活用推進プロジェクト		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-(イ)		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成 Ⅲ-1-(4)		
事業内容	カラキ(オキナワニッケイ)をシナモンとしての価値に着目し村内の地域資源として活用し、苗木生産から一次加工、商品開発・ブランド構築までを一貫して行い、地域内連携を推進しながら農林業の振興、観光の振興、人材育成等の地域振興を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	
	(a)当初予算額	7,389	10,046	14,330	13,793	0	
	(b)予算現額	6,871	9,646	4,572	12,665	0	
	(c)増減額(b-a)	▲518	▲400	▲9,758	-1,128	0	
	(d)繰越額					11,783	
	A.計(b+d)	6,871	9,646	4,572	12,665	11,783	
	B.執行済額	6,731	9,588	4,243	882	11,652	
	うち交付金充当額	5,384	7,670	3,394	705	9,322	
	次年度繰越額	-	-	-	11,783	0	
	執行率(%) (B/A)	98.0%	99.4%	92.8%	7.0%	98.9%	
予算の状況の説明	繰り越した予算はすべて調査委託費に使用しました。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	・挿し木の完了	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	
		実績	( )	( 実施 )	( )	( )	
	・定植苗配布	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	
		実績	( )	( 実施 )	( )	( )	
	・成分分析	目標	( )	( 実施 )	( )	( )	
	実績	( )	( 実施 )	( )	( )		
・ワークショップの開催	目標	( )	( 実施 )	( )	( )		
	実績	( )	( 実施 )	( )	( )		
・商品開発・市場調査	目標	( )	( 実施 )	( )	( )		
	実績	( )	( 実施 )	( )	( )		
・シンポジウムの開催	目標	( )	( 実施 )	( )	( )		
	実績	( )	( 実施 )	( )	( )		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿し木の完了・・・トンネルハウス内に5,940本の挿し木を完了した。</li> <li>・定植苗配布・・・10名の農家に210本の配布を行った。</li> <li>・成分分析・・・乾燥した葉、生葉や開発した商品の成分分析を行った。</li> <li>・ワークショップの開催・・・令和2年12月から令和3年2月にかけて北部農林高校や辺士名高校の生徒や地元農家を対象に合計3回のワークショップを開催した。</li> <li>・商品開発・市場調査・・・ワークショップに関わった高校生と商品開発を行い、オキコ株式会社、沖縄物産企業連合、お菓子工房よみたん、有限会社渡具知に市場調査としてヒアリングを行った。</li> <li>・シンポジウムの開催・・・令和3年3月に農村環境改善センターにおいてシンポジウムを開催した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	・挿し木の5,000本の完了	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
		実績	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
	・定植苗配布の実施	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
		実績	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
	・成分分析(年間の成分変動及び賞味期限)の完了	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
		実績	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
	・ワークショップの開催	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	( )
	実績	( )	( )	( 完了 )	( )	( )	
・商品開発・市場調査の完了	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	( )	
	実績	( )	( )	( 完了 )	( )	( )	
・商品開発・市場調査	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	( )	
	実績	( )	( )	( 完了 )	( )	( )	
【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( 11店舗 )	
	実績	( )	( )	( )	( )	( )	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿し木については、5,942本挿し木をすることが出来た。</li> <li>・定植苗配布については210本の定植苗を配布することが出来た。</li> <li>・成分分析については、カラキの乾燥葉、生葉及び開発した商品の分析を行った。</li> <li>・ワークショップの開催については新型コロナの影響で開催日が延期したが、合計3回開催した。</li> <li>・商品開発についてはワークショップで開発した商品のパッケージデザインを作成し、市場調査については県内メーカーや流通関係者にヒアリングによる市場調査を行った。</li> <li>・シンポジウムについては新型コロナの影響で開催日が延期したが、3月に開催することが出来た。</li> </ul>						

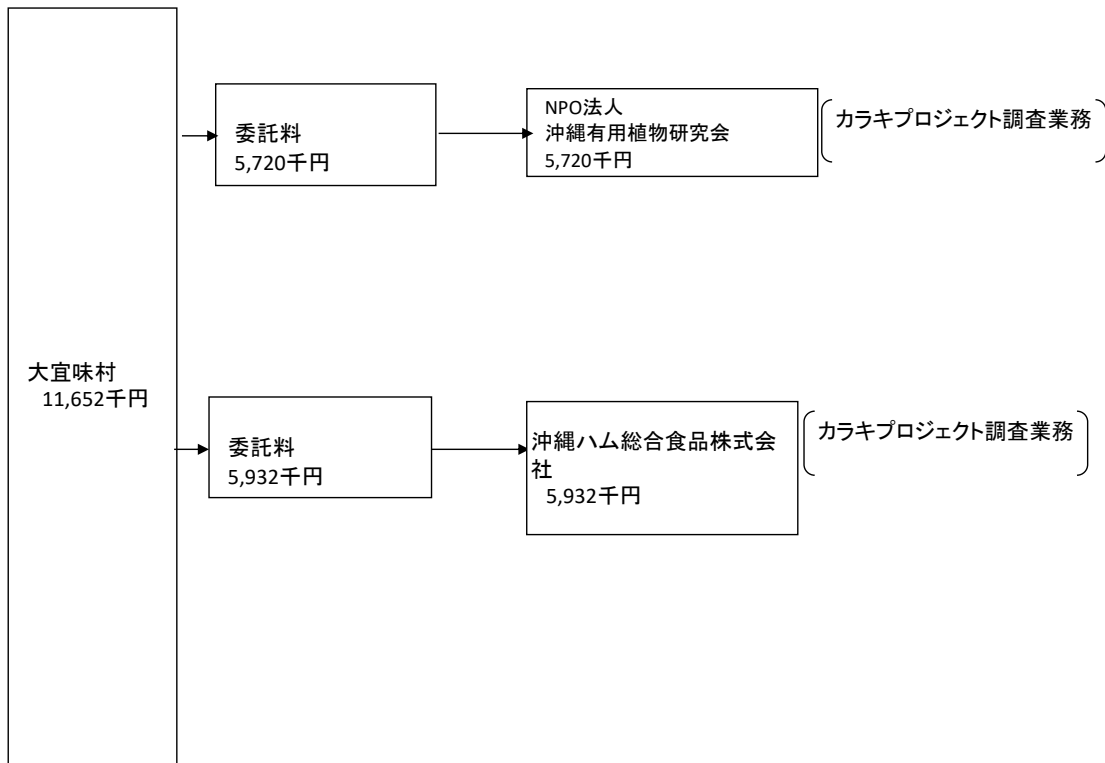
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①配布先の農家の栽培環境がそれぞれ異なるため地域毎に生育状況が異なる。 ②整枝・剪定方法等の収穫に直結するような栽培技術がまだ確立されていない。 ③カラキ葉を出荷できる農家が少なく供給が限られているので商品開発等が進まない。 ④村内ではカラキについての認知度は向上したが、村内の販売店等での取り扱いが増えない恐れがある。	①栽培がうまくいっている配布先農家で現地検討会を開催し、栽培技術の普及・平準化を図る。 ②栽培技術については県の関係機関等にも相談して技術向上・普及をめざす。 ③配布したカラキ農家の生育状況を考慮しながら業者と連携し商品開発が出来る環境を作る。 ④調査委託事業で作成したチラシやポスター、動画等を活用し村内事業者がPRしやすい環境を作り、カラキ加工品を取扱う業者を増加させる。

**今後の取り組み方針**

- ・農家に配布した苗の栽培状況について現地調査や聞き取り調査を行い、栽培技術に関する情報を収集する。
- ・農家への配布終了後の苗木の増殖については、これまで配布した農家が自主的に取り木等で増殖して規模拡大をしたり、他の農家へ販売が出来るようにする。
- ・今後のカラキの商品化については村内のカラキの増殖具合を見ながら県内の食品関係者等と一緒に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,652	11,652	9,321	2,331	



資金の用途の流点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	